

第4学年2組 学級活動（1）指導案

1. 日時・場所 平成30年6月13日（水） 5時間目（13:30～14:15） 4年2組教室

2. 議題 「外遊び集会をしよう」

思いやりのあるクラス

学級目標

だれとでも仲良し
なクラス

ニンニコ2組

元気でポジティブなクラス

元気 バクハツ！

3. 議題について

（1）児童の実態

明るく素直な子どもたちが多い。授業中の発言も多く、分からないことを素直に伝え、教え合う姿が多く見られる。休み時間は、男女を問わず楽しそうに過ごしている。また、係活動にも積極的に取り組む様子が伺える。クラスをより盛り上げるために、一人一人がアイデアを出し合って、実行し、生き生きと活動している。一方で、友達の話や意見に反応したり、真剣に聞いたりすることが十分でないので、周りが聞く姿勢になってから話したり、相づちや反応を示したりするよう指導している。

（2）これまでの学級活動の取り組み

担任の学級への思いを子どもたちに伝え、一年間をどのようなクラスにしたいかを話し合った。その結果「元気でポジティブなクラス・思いやりがあるクラス・誰とでも仲良くできるクラス」を目指すことに意見がまとまった。また、一人一人が学級目標に愛着をもち、意識できるように、学級の合言葉を「ニンニコ2組 元気バクハツ！」とし、「ニンニコ」には、思いやりをもって誰とでも仲良くし、2組のみんなが笑顔になるという思いが込められている。また、「バクハツ！」という言葉を入れることによって、クラスの明るい様子を表現した。

話し合い活動は、今回が2回目である。1回目は「ようこそ4年2組集会をしよう」という議題で話し合った。事前に提案理由やめあてを意識する大切さを確認することで、ほとんどの子どもたちが、話し合いの流れを理解して、進んで意見を伝える姿が多く見られた。課題としては、友達の意見を生かした発言が少なく、全体の意見をまとめるのに時間がかかってしまった。そのため、友達の意見をよく聞いて、賛同したり、質問をしたり、意見を重ねたりしていく話し合いの仕方を指導しているところである。また、心配意見ばかりが出て、話し合いが滞る時間もあった。意見をまとめていくためには、心配意見を解決していくことや、前向きに話を進めて行くことの大切さも合わせて指導しているところである。友達の意見に耳を傾け、前向きに話し合える子どもたちに育ってほしいと願っている。

（3）議題選定の理由

運動会が終わり、落ち着いて学習に取り組んだり、ゆっくりと自分の時間を過ごしたりできるようになった。応援団やリレーの選手は、朝の時間や休み時間に校庭や体育館を使って練習をし、児童会としての活動がある子は運動会に向けていろいろな準備に励んでいた。そのため、多くの子どもたちは校庭を広々と使用する遊びが行えず、室内で遊ぶ日々が続いていた。そこで、「久しぶりにみんなで外遊びをして、学級目標の『元気でポジティブなクラス』に近づきたい。」という思いが提案者から寄せられた。計画委員会で、「外遊びを行いたい。」という子どもたちの願いが高まっているこの時期に

話し合うことが大切だと考え、本議題を選定した。

今回の学級会では、話合うこと①「校庭で思い切り走れる遊びを決めよう」と、話合うこと②「もっとポジティブになれる工夫を決めよう」の2本の話合いの柱を設ける。話合うこと①では、校庭一面を使って走り回れる遊びがたくさん出てくることが考えられるため、よりポジティブな意見が集まった遊びに決まることが予想される。ただし、心配意見を丁寧に解決していくことや、少数意見を大切にすることについてもきちんと配慮した話合いを行ってほしいと願う。話合うこと②では、決まった遊びに対して、もっとポジティブになれるような工夫を考えていく。子どもたちは、遊びを通して、クラスがよりよい方向に向かっていくことを望んでいる。そのため、遊び終わったときに、「やってよかった。」「明るい気持ちになれた。」と思えるような工夫を考えていく。そして、提案された意見は、きちんと話合いの中で実践が可能か検討した上で、できるものは取り入れていくという、承認型の話合いになることが予想される。事前に「ポジティブ」という言葉のイメージを学級全体で共通理解を図り、みんながめあてを意識して、積極的にアイデアを出していけるようにしたい。

(4) 本実践で大切にしたいこと

前回の学級会のふり返りでは、「意見をもつことができたので、次は意見を言えるように頑張りたい。」「今度は聞くだけでなく、意見も言いたい。」という思いが、学級会カードに多く書かれていた。そのため、2回目の学級会である本実践では、意見をもつだけでなく、進んで意思表示をすることを大切にしたい。進んで発言するほかに、うなずいたり、相づちを打ったりしながら聞くことも意思表示の一つであることを、指導しているところである。議題に対して一人一人が本気で話合う姿を目指したい。実現に向けては、一人一人がきちんと提案者の思いを理解したうえで話し合うことが大切だと考える。計画委員会で事前に提案者からの思いを丁寧に確認し、クラス全体に伝える。このとき、一人一人が提案内容を正しく理解できるように、全体での共通理解を図っていきたい。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・表現	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心をもち、他の児童と協力して意欲的に取り組もうとしている。	楽しい学校生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	みんなで楽しい学校生活をつくるための大切さや、学級集団としての意見をまとめる話合い活動の計画的な進め方について理解している。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
5月下旬 休み時間	・議題が寄せられる。	○事前に話合うこと確認し、クラスの全員が本気で話合いに臨める、必要感のある議題かどうか考えるよう促す。 ☆学級生活に関心をもち、学級をよりよくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
5月下旬 休み時間	・司会グループと教師が、寄せられた議題から議題を選ぶ。	○寄せられた議題の中から、司会グループと教師とで一緒に議題を選べるようにする。 ☆寄せられた議題案の中から今の学級に相応しいものを選びようとしている。(集団の一員としての思考・判断・表現)
6月5日(火) 休み時間	・提案者を含めた計画委員会で話合いのめあて、学級会の進め方や役割分担について話し合う。	○今回の学級会では何を大切に話し合いたいかを計画委員会のメンバーで確認をする。 ○それぞれの役割や話合いの流れをイメージできるように「キャリア在り方生き方ノート」を活用する。 ☆話合い活動の準備や進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)
6月5日(火) 帰りの時間	・学級会で話し合う議題とめあて、提案者の思いを学級全体に伝える。	○伝え方について事前に確認することで、学級全体の意欲を引き出せるような伝え方ができるようにする。 ☆議題に対して関心をもち、話合いの見通しをもっている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月6日(水) 朝の時間	・学級会ノートに自分の考えを記入する。	○柱①の「何をするか」について学級会ノートに自分の考えを書くように伝える。このとき、話合いのめあてを意識するようにする。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月8日(金) 休み時間	・出された意見がめあてや提案理由に沿っているか確かめ、学級全体の意見を把握する。	○提案者の思いやめあてを再度確認し、出された意見の中で、どれが今の学級にとって大切なのか考えられるようにする。 ☆提案理由やめあてに合ったものを選びようとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月12日(火) 朝の時間	・「出し合う」段階の意見を学級に伝える。	○学級の一人一人が持っている意見や理由を全て発表し、模造紙に記録しておく。 ○提案者の思いやめあてを再度確認し、出された意見の中で、どれが今の学級にとって大切な事なのか考えられるようにする。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えをもっている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

6月12日(火) 休み時間	・学級会の進め方について最終確認をする。	○司会グループで一人一人の意見を確認しながら、話し合いの流れを予想したり、時間配分を考えたりして、司会グループが落ち着いて学級会を運営できるように一緒に準備を進める。 ☆計画委員の運営や話し合い活動計画について考え、準備をしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)
------------------	----------------------	--

(2) 本時の活動

①ねらい みんなが元気にポジティブになれる「外遊び集会」の内容と工夫を話し合っ決めて。

②活動計画

児童の活動	支援(○)と評価(☆)
<p>1.はじめの言葉</p> <p>2.司会グループの紹介</p> <p>3.議題の確認 議題 「外遊び集会をしよう」</p> <p>4.提案理由の確認 提案理由 「運動会が終わり、校庭で思い切り遊べるようになりました。そこで、校庭を広々と使って、みんなで思い切り走ったら、学級目標の『元気でポジティブなクラス』に近づけると思ったので提案します。」</p> <p>5.めあての確認 話し合いのめあて 「もっと元気でポジティブになれるような外遊び集会にしよう。」</p> <p>6.決まっていることの確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 6月27日(水) 3校時 ・場所 校庭 ・校庭で思い切り走れる遊び </div>	<p>○友達を近くに感じながら話し合うことができるよう、机は使わずにいすだけで座る。</p> <p>○議題やめあて、決まっていることを黒板に掲示する。</p> <p>○司会は、進行表を活用しながら進めていくよう助言する。</p> <p>○提案者の思いを全員が理解した上で話し合いが行えるように確認する。</p> <p>○話し合いのめあてからそれた場合は、めあてを再度確認するよう声をかける。</p> <p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話し合いが行き詰ってしまったときには助言する。</p> <p>☆司会グループとして自分の役割を果たしている。 (集団行動や生活についての知識・理解)</p> <p>☆友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考え、意見を言ったり聞いたりしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>

<p>7.話合い 話合うこと①「遊びを決めよう」(何をするか)</p> <p>話合うこと②「遊びの工夫を決めよう」(どのようにするか)</p> <p>8.決まったことの確認</p> <p>9.今日の MVP</p> <p>10. 振り返り</p> <p>11. 先生の話</p> <p>12.終わりの言葉</p>	<p>○友達の話をよく聞いて、自分の意見を言えたか、めあてに沿った話合いができたかについて振り返るよう助言する。</p> <p>○めあてや友達、学級全体を意識した意見や態度を見つけて称賛し、意欲をもって実践できるようにする。</p>
--	--

③板書計画

第2回 学級会

議題 「外遊び集会をしよう」

提案理由 「運動会が終わり、校庭で思い切り遊べるようになりまして。そこで、校庭を広々と使って、みんなで思い切り走ったら、学級目標の『元気でポジティブなクラス』に近づけると思ったので提案します。」

話合いのめあて
「もっと元気でポジティブになれるような外遊び集会にしよう」

話合うこと①
校庭で思い切り走れる遊びを決めよう

○おにごっこ
○ふえおに
○どろけい
○石木氷おに

話合うこと②
もっとポジティブになれる工夫を決めよう

○おにから解放されたら「おかえり」を言う
○ハイタッチをする
○タッチした友達のいいところを言う
○遊びの終わりに今日の MVP を発表する

決まったことの確認
今日の MVP
振り返り
先生の話
終わりの言葉

☆決まっていること☆

- ・ 6月27日(水) 3時間目
- ・ 校庭
- ・ 校庭で思い切り走れる遊びを1つ決める

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援(○)と評価(☆)
6月14日(木) 朝の時間	・ 役割分担をする。	○決まった内容に沿って必要な役割を考え、全員で分担できるようにする。 ☆必要な役割を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月14日(木)～ 休み時間	・ 役割分担に基づいて準備をする。	○準備中から学級目標やめあてを意識できるようにする。 ○協力して準備を進められるように声を掛ける。 ☆集会に向けて進んで取り組んでいる。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

<p>6月27日（水） 3校時</p>	<p>・「外遊び集会をしよう」を行う。</p>	<p>○安全に行えるように見守り、必要に応じて助言する。 ○振り返りでは、互いの良さを認め合えるような場にし、達成感を味わえるようにする。 ☆学級目標やめあての達成に向けて進んで取り組み、友達と共に活動している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
<p>6月27日（水） 帰りの時間</p>	<p>・実践後のふり返りを学級会ノートに書く。</p>	<p>○話合いから実践までの流れの中で、できたことや頑張ったことに目を向けるように声を掛ける。 ○次に何をどう生かしたいかも書くように声を掛ける。 ☆活動に対する自分の取り組みや、学級全体としての取り組みを振り返り、みんなで集会をつくる意義を理解している。(集団活動や生活についての知識・理解)</p>